

TMiMS 第16回都医学研シンポジウム

参加費
無料

ヒト脳進化を駆動した 哺乳類脳の発生原理

2026年

5月11日(月) 10:00~17:00

会場 東京都医学総合研究所 2階講堂 定員 先着100名

※都医学研シンポジウムは研究者や医療従事者等を対象としており、講演は専門的な内容になります。

演者

鈴木 郁夫	大阪大学 大学院生命機能研究科 ヒト進化・機能ゲノミクス研究室
仲嶋 一範	慶應義塾大学 医学部 解剖学教室
野々村 恵子	京都大学 医生物学研究所
岡本 麻友美	奈良女子大学 研究院自然科学系生物科学領域
今吉 格	京都大学大学院 生命科学研究科 高次生命科学専攻 脳機能発達再生制御学
難波 隆志	藤田医科大学 精神・神経病体解明センター/ヘルシンキ大学
野村 真	京都工芸繊維大学 応用生物学系/社会医工学研究センター
新明 洋平	浜松医科大学 医学部 神経生理学講座
河崎 洋志	金沢大学 医薬保健研究域医学系 脳神経医学研究分野
北畠 康司	大阪大学 大学院医学系研究科 小児科学
丸山 千秋	東京都医学総合研究所 脳神経回路形成プロジェクト

事前申込制

【申込締切日】 2026年5月4日(月・祝)

<https://www.igakuken.or.jp/public/sympo/sympo16.html>

問い合わせ先

〒156-8506 東京都世田谷区上北沢 2-1-6

TEL: 03-5316-3109(平日 9:00~17:00)

(公財) 東京都医学総合研究所 都医学研シンポジウム事務局

E-mail: koho@igakuken.or.jp



詳しくはこちら

次 第

10:00 開会挨拶 丸山 千秋（東京都医学総合研究所 脳神経回路形成プロジェクトリーダー）

Session 1 ヒト脳進化を準備する発生基盤

（座長：新明、難波）

10:10-10:35

「古い」皮質と「新しい」皮質 – 発生期移動細胞の挙動はなぜ違うのか？

仲嶋 一範（慶應義塾大学 医学部 解剖学教室 教授）

10:35-11:00

脳発生・発達における細胞膜の機械受容の役割

野々村 恵子（京都大学 医生物学研究所 教授）

— Coffee break (20分) —

（座長：鈴木、河崎）

11:20-11:45

力が脳発生をどのように制御するのか？

岡本 麻友美（奈良女子大学 研究院自然科学系生物科学領域 准教授）

11:45-12:10

神経幹細胞の転写因子ネットワーク制御から迫るヒト脳形成メカニズム

今吉 格（京都大学大学院 生命科学研究科 高次生命科学専攻 脳機能発達再生制御学 教授）

— Lunchtime —

Session 2 進化を規定する制約と変容

（座長：仲嶋、野々村）

13:10-13:35

発生拘束の進化的変容から読み解くヒト脳進化

野村 真（京都工芸繊維大学 応用生物学系 教授 / 社会医工学研究センター センター長）

13:35-14:00

ヒト大脳新皮質の発生と進化を細胞内・外の代謝から理解する

難波 隆志（藤田医科大学 精神・神経病態解明センター 教授／ヘルシンキ大学 グループリーダー）

14:00-14:25

ダウン症候群が示すヒト皮質形成の臨界と脆弱性

北畠 康司（大阪大学 大学院医学系研究科 小児科学 教授）

— Coffee break（20分） —

Session 3 ヒト脳進化の飛躍とその代償

（座長：野村、岡本）

14:45-15:10

発生期ヒト大脳におけるサブプレート層拡大とその進化的コスト

丸山 千秋（東京都医学総合研究所 脳神経回路形成プロジェクトリーダー）

15:10-15:35

アストロサイトに着目した複雑脳の形成機構

新明 洋平（浜松医科大学 医学部 神経生理学講座 教授）

（座長：北畠、今吉）

15:35-16:00

大脳の進化的肥大化に対する矛盾駆動型適応としての皺構造

河崎 洋志（金沢大学 医薬保健研究域医学系 脳神経医学研究分野 教授）

— Coffee break（15分） —

16:15-16:40

ヒト脳進化についてのゲノム・分子メカニズム

鈴木 郁夫（大阪大学 大学院生命機能研究科 ヒト進化・機能ゲノミクス研究室 教授）

16:40-16:50 総合討論（丸山・鈴木）

16:50 閉会挨拶 鈴木 郁夫

（大阪大学 大学院生命機能研究科 ヒト進化・機能ゲノミクス研究室 教授）